

防災講話（2学年）

1 題材名

「いのちを考える」

2 講師

関上中学校遺族会 代表 丹野 祐子様

3 日時

平成28年9月12日（月）
5・6校時（13:35～15:25）

4 対象

2学年生徒，職員，保護者，
太白区内小中学校職員

5 ねらい

防災教育の原点である「命」についての講話を頂き、「命」について改めて見直す機会とする。

6 内容

関上中学校遺族会 代表 丹野 祐子様より命について考える講話をいただいた。講話終了後、丹野様を囲んで、パネルディスカッションを行い、当たり前と生きてることが奇跡の積み重ねであることなどを考えた。



生徒達は講師の話にじっくりと耳を傾けていた。「勇気を出して避難を呼びかけることで、人の命が救えること。」「命があるのは当たり前ではなく、生きていることを大切にしなければならないこと。」などを感想に書いていた。

パネルディスカッションでは、生徒が活発に質問をした。丹野様にもそれぞれに一つ一つ丁寧に答えていただいた。生徒にとって、「震災がまだ終わっていないこと」、「これから前に進もうとしている人がいること」、そして「命の尊さ」を肌で感じる機会となった。

